

保育園・幼稚園の保護者会活動

今回本稿の提案があり、全国各地から参加申し込みが早い段階からありました。当日は、会場のイスが足りなくなり、追加する程の大盛況でした。



保護者会や父親会が成功事例、悩みや課題等を話し合いました。大人のつながりが子どもたちの園生活や身近な大人、友だちのかかわりに大きく影響していくことを改めて感じました。
職員もプライベートと保育と家庭の捉え方、いかに自分自身が楽しめるか。同じ課題を仲間と共有できました。(須藤)

一緒に方向を向いていきたいけどわからない...悩んでいたのを来しました。つながりたい、思っているけど理想と現実の違いに悩んでいます。(三重 保育士17年目)



「保育こころとき、どうある？」

「あるある〜」って感じ。実感どうなずにばかりだった。正解って1つじゃないんだなと感じました。手厚く見えても、気になる子が1人いるとやっぱりそこに1人は付くし、西置人数が全てじゃないと思った。埼玉:30代、40代 初参加

「保育園の子育て支援活動がB支援センターだけでなく、利用している保護者のかを借りてつくりあげていくことでより良くなっていくな、と思った。

神奈川:50代 保護者OB

「考教育・保育のデジタル化と、子どもの権利を尊重する保育の探求」

保育園でICT化が進み便利になっているのは、保育士が保育に専念できるように...なんて促していたが、ICT、AIに頼っていくうちに、考教育としての専門性や質の低下も懸念されていく事も学び、どう活用していくか、考えていきたいと思いました。東京:20代



約300人の参加がありました〜!! スゴイ!!

保育者実技講座『うたとリズム』

リズムをしながら重かきやポイントが話されました。楽しくて重かいている姿が印象的で、1つ糸通るごとにメモを取って学んでいる姿もありました。初めて会う人たちが「楽しくて手をつないで」リズムする姿がいいなあと思いました。



保育制度・正交策のさらなる改善をめざして、認可園では、担任数は、国基準以上を維持しているが、自治体によっては、フリー保育士が西置できない中で、園長、主任も糸通出で現場を回している。こども達でも通園制度については、必要性は高いが3人以上と同様に「質の石管保された施設で、全ての子どもに保障も!」制度改善は、国基準以上にすべきと石管認できました。



男性保育士の方のリズムの迫力がすごかった!! 山形 20代保育士

中継のリズムやったことがないのか? あったの? やってみようと思います 山形 20代保育士

1人倒さしました!!

ステキな会でした。保育に対する考え方を振り返ったり、改めて歌の意味を知ったりなど、実践だけでは学べない学びもたくさんありました。

初めてするリズムやふれあいあそびもあって勉強になりました。大阪 20代 1期保育士



大人こそ知りたい「子どものための小生のはなし」 灰田 満乃

性考教育に全く無知だったから、幼児期から伝えることの大事さを丁寧に聞くことができてきました。まずは自分の体を好きになること、自分の体のことは自分で決める! Yes、No が言える大事さや、保育者・保護者でも子どもにわかるように伝える大事さなどたくさん学ぶことが出来ました。



一人ひとりを大切にする保育と職員集団づくり 長瀬 美子 前川 良太



子どもにも保護者にも相手のことをよく考えて関わっているのに、職員間では?と聞かれました。そこまて考えていなかったなとハッとさせられました。一緒に悩み、声を掛け合いながら、自然にやっていることがあたりまえに誰かの支え・頼りになる保育ができる仲間をつくってきたい!!



おいしく・楽しく・安全に 永井 友保

咀嚼と補食の関係が子どもの食育方に深く関わっていることを知りました。スプーンのペシ持ちが出来る出来ないは運動発達の大前提で決まるのも再確認できました。

親子企画「つくってあそぼう」

親子(4才の長男)で参加しました。くろりん馬を「くろりん」おのに夢中な息子でした。わくわく楽しかったです。埼玉 30代



4・5歳児の発達の「今」を理解する 小川 絢子 山崎 直緒子

子どもにとって遊びは学びの土台となっていると改めて感じました。大人が求める「できる・できないの結果」ではなく、その過程や子どもの楽しさや悔しさなどの気持ちやよりよい学びに結びついていくのだと思いました。



in 共愛学園前橋国際大学